

## ○台風18号情報

(9月14日12時現在)

台風18号が、九州に接近・上陸する可能性が出てきました。9月14日12時現在、台風18号は九州の南西海上にあり、北北西に進んでいます。今後進路を次第に北から北東へ変えて、九州の西南西海上から九州南西岸に向かう進路予想になっています。また、海水温が高い海域を通過するため、台風の勢力は上陸直前まで衰えない予想です。

このままの予想進路の場合、宮崎県全域が非常に大きい影響を受ける可能性が高くなっていますので、台風18号の勢力、進路、宮崎県への影響を解説します。なお、今回の予想進路は、気象庁、米軍台風センター、ヨーロッパ中期予報センター、NOAA(米国海洋局)ともほぼ一致していることから、厳重な警戒をしてください。

### 1 台風18号について

#### (1) 今後の予想進路

台風18号は、当初、台湾から中国大陸方面に向かう予想でしたが、北から上空の気圧の谷の接近と太平洋高気圧の勢力の後退が見られたことから、九州方面に近づく進路に変わってきました。

現在の予想進路で進んだ場合、九州の南西部(鹿児島薩摩半島付近)から九州を北東に縦断する予想となります。上陸後、宮崎県の日向市付近から日向灘に抜け、四国方面に。さらに日本列島を縦断する予想です。本県への最接近は17日未明から午前中になります。

#### (2) 規模・強さ

台風18号は14日12時現在、中心気圧935hPa、最大風速50m最大瞬間風速70m、暴風半径200kmとなっています。

今後の予想として、現在が最も強い勢力ですが、まだ、海水温の高い海域を進むため、現在の勢力を維持しながら接近上陸し、本県通過する際は、中心気圧960hPa最大風速40mと予想します。

現在の予想進路であれば、宮崎地方は16日から17日かけて全県的に暴風域に入り、特に台風の東側になる地域では猛烈な暴風、大雨になる可能性が高くなっています。

#### (3) 宮崎県への影響

9月14日12時現在の予想進路で影響を説明します。

- ① 過去に本県に大きな被害をもたらした、台風13号(風台風)、14号(雨台風)と同じような影響を受ける可能性があります。

本県全域では

○最大風速は30m(最大瞬間風速45m~50m)。

※台風の東側に入る地域は、これ以上の暴風が予想される。

○雨量は15日~17日かけてで400~500mm、南部山沿いでは700mm程度が予想されます。

また、1時間雨量が80mm以上の猛烈な雨となる地域が出てくる見込みです。

- ② 予想される現象としては、暴風、竜巻、大雨(時間80mm以上の猛烈な雨)により、崖崩れ、土砂崩れ、低地での浸水被害及び農業関係では農業施設の破損、農作物への被害等が予想されます。

さらに、台風の北東側に位置する15日から16日にかけて本県沿岸部で竜巻が発生する可能性があります。

## 2 必要な対策の実施

台風18号については、8月初めの台風5号と比較して、大型で勢力が強くなっています。また、昨年同時期の台風16号と比較してもスケールが大きいため、影響は避けられない状況です。

台風5号では、進路が最終的に、気象庁の予想よりも東側を通過しましたが、18号は秋台風の特徴を持ち、進路がほぼ定まっていることや非常に強い勢力を維持していることから、台風の備えや対策は、明日15日中までに行ってください。

なお、台風の進路、勢力等の変化については、常時最新の情報を入手するようにしてください。

総合農業試験場企画情報室 村岡精二(気象予報士)